

令和6年度事業報告

シルバー人材センターでは、この一年会員の健康を第一に考え就業案内等に取り組んでまいりました。国は「健康寿命延伸プラン」の中で、2040年までには健康寿命を75歳に延ばす目標をたて、日常的に食事や運動習慣、睡眠、歯の健康維持などを積極的に取り組むことを奨励し、町でも実施される基本健診については積極的受診を促しております。

我が国の健康寿命を男女別に調べますと、男性が72.57歳で女性は目標値を0.45歳上回る結果となっていることから、男性は特に健康に留意してほしいと願うところです。

私たち会員の中には、生きがいのために就労の機会がほしいという方がいます。その中でも、希望に叶う就業の場が限られており、担い手不足の農業分野では冬場でも就労の機会はあるのに支援できない苛立ちはあるのかと思います。

除草作業のない寒い期間は冬野菜の収穫がウエイトを占め、長時間の屋外作業は低体温症や膝関節・腰痛の原因になることが想定され契約のできないひとつの要因になっています。

生きがいのための就労を目標に事業を展開してゆくためには、短い時間で安全に就労できる環境整備もこれからは重要となってくる。また、そのことが健康寿命を延ばすきっかけになり、発注元と十分協議検討し作業員の働きやすい環境づくりがこれからの課題だと認識した。「錦江町地域福祉計画」の基本理念に、“各世代が助け合い、元気に暮らせる『地域』づくり”（生きがいと笑顔あふれる錦江町）がありますが、取りこぼしのない支援体制の確立を目指し取り組んでおりますが、まだまだ、期待に応えられるよう会員相互の協力が必要であることを感じた1年でした。

これは、重要なお知らせになります。昨年の11月1日からフリーランス新法が制定され会員（免税事業者）の皆様はフリーランサーの位置づけで発注者と契約をすることになります。その手助けをセンターが行い包括的契約を結んでまいります。以前から消費税（インボイス）関連のお話が出ておりますが、皆さまの配分金の中に含まれる消費税をセンターが納税することは回避しなければならないため、その手続きとなります。

そのほか認定法の改正に伴い社団法人では、次回理事の選任において外部理事と外部監事の設置が義務付けられます。

令和6年度の基本方針から

1. 事業計画の目標値を定める中で、後半に記載の参考欄でもわかりますように会員数の拡大については現状維持の164名、未就業会員「O」への挑戦については就業率が57.9%と一昨年を2%下回りました。就業機会の拡大については、延日人員は、請負事業7,731人日、派遣事業の572人と目標値に届きませんでした。受注件数のほうで考察しますと、公共332件、民間760件と総数で目標を上回ることができました。

契約金額の拡大としては、請負(受託)事業で56,060千円 前年実績対比104.3%、派遣事業で3,656千円 前年実績対比106.2%で、全体では事業実績59,716千円 前年実績対比104.4%となり、昨年を上回り目標値を上回ることができましたが、物価上昇にともなう単価等の改定が主な要因になっています。

2. 会員数の増強と就業率の向上を図る動きとして、入会説明会の定期的実施についてはセンターからの情報発信が思うようにいかず、不定期に開催の個別説明会のみで対応した。来訪者のあるなしにかかわらず定期的な開催は、行政の協力をいただきながら周知に努めたいと思います。

1 会員 1 加入に関しましては、60 歳未到達者の紹介もありましたが、満年齢に到達するまでは保留にするなど、現会員さんも奮闘しておられることに心から感謝申し上げます。

女性会員の拡大については、希望に叶う職種が少ないこともあり入会の相談件数が少ないのは以前から変わりませんが、派遣事業の送迎等にかかる相談もきておりますので、これを機に紹介をしていただければと思います。

また、リーフレット・パンフレットの配布につきましては年度当初に募集チラシとワンコイン事業の紹介などを行いました。会員募集のチラシには、時間あたりの単価を掲載したことで入会を検討する人などから多数の相談を寄せれるなど効果があることは実証されたのですが、発注者側からみると契約金額が増えることで依頼件数が少なくなるようなイメージがありました。今後の反省点としては、どのような仕事をお手伝いできるかのイラストなどを用いて改良を加えてゆきたいと感じました。

ワンコインサービス紹介では、配布した年度当初にはご興味を持たれる方から連絡があったりしますが、チラシだけの効果に頼らずご近所からの情報でこんなサービスをしてくれる人がいたら助かるなどの意見も地域行事に積極的に参加していただければ、シルバーの活動へさらに興味をもっていただけるものと期待するところです。

未就業会員の分析としましては、やはり医療機関の利用頻度が多くなることや「共助」の精神をうたっているものの他の会員や発注者にご迷惑をかけるのではと、思うように行動に移せないことなどが根幹にあるようです。

3. 受注の拡大についても営業経験を有するコーディネーター及び業務担当者による人手不足分野や育児支援等の現役世代を支える分野の就業機会の拡大を目指しておりますが、本所において欠員であった業務担当者を 10 月から再配置することになり、冬季の就業に関しては特に葉物の収穫作業の人手不足を補うため、就業に関する丁寧な説明などにより良好な就労を図れました。会員においても自ら行動する中で地域行事等の積極的参加やボランティア活動で新たな就業開拓にも努力の成果はみられました。

派遣事業のコーディネーターに関しては、設置している隣接市町のセンターへ出向き研修を受け、連合会からも指導をいただくなど受託事業から派遣事業への移行についても学習することができました。

受注拡大に関しては、周知啓発はもちろんのこと地域の声に耳を傾け、私たち町において何を住民は求め会員はどのように寄り添うべきか考えていきたいです。

4. 安全・適正就業の徹底では、安全パトロールにおける安全指導の強化に努め安全・適正就業委員による毎月 20 日を「安全就業指導の日」と定め、就業用具の点検、安全保護具（ヘルメット）等の着用状況のチェックを行う巡回パトロールを実施しておりますが、予測不可能な事故は気のゆるみや慣れでおこる事案もありますので、作業をする際には周囲の状況を把握するとともに自身の健康状態がどうであるかを確認し「事故ゼロ」の達成に向け対策を講じてほしいと思います。センターでは傷害保険や損害保険に加入はしていますが、年に 2 回以上の損害事故を起こした場合には、翌年の保険掛金が増大となることから、これからは免責額をご負担いただくなどして、事故発生率を抑制することを検討し

ております。

会員（フリーランサー）は、今までもですが、特に民間からの発注に関しては、仕事の仕上がり具合で会員を指名するケースがありますので、たいへんご苦労されると思います。が、安全就業に専念くださいますようお願いいたします。

5. 普及啓発の推進は、シルバー人材センター事業において、これまで1から4まで内容を地域の方にわかりやすく伝える工夫として効果的な広報活動という取り組みになります。

様々な媒体を活用する点に関しましては、学習する機会がなくホームページの更新が思うように進んでおらず、再更新をする課題もある中、学習機会をつくり事業を展開してまいります。つきましては、シルバーに関連する色々な情報がございましたら、取材等を行い対応してまいりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

6. 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業等の推進では、既存会員や新規会員の就業機会の確保や提供に努めることとなりますが、実際のところ就業内容が体への負担や人の命に係わる運転業務などがあり、精神的に不安になる要素がどの分野にもあるようです。

このような背景の中から、就業機会を創出することは困難と思われますが、企業や発注者と協議を重ね就労体制の見直し検討も今後の課題として取り組みたいと感じました。

7. 組織の充実強化に関しては、基本理念である「自主・自立・共働・共助」の実現に向け、各種委員会の組織活動の充実と活性化に努めることと目標を立てていますが、入会をする時にその人の趣味などがセンターの中で活かされるようグループ編成ができればと反省する1年となりました。

それぞれの地域では、サロン活動が活発に行われているようですが、運営をけん引する人手の不足もあることがささやかれています。そのような地域で人手不足となるような分野に何かを見出し協力できる体制を強化できないか検討したいと思いました。

総合的にシルバー人材センターを取り巻く情勢を見てみますと、毎年10月に見直される最低賃金が、時間当たり60円上昇し発注者のお財布に影響がでてくるなど、受注件数も今後減るのではないかと予想されます。

人手不足が予想される冬に収穫を迎える高菜収穫などは仕事の依頼は多いのですが、そこに出向いてくださる会員が少ないことにはセンターもどうかしてあげたい気持ちだけ生まれて、双方が満足できる現場を確立できておりません。

そのような大変な状況に少しでも多くの方が協力できるように、生産農家の方々と協議を進め労働力の回復のために、就労時間の短縮化の実現のために、会員が気持ちよく作業できる現場の改革が必要でないのかと思うところです。

空き家・空き地が町内にも多く点在しておりますが、郷里を離れた出身者から作業の依頼をお受けすることも最近では増えてきております。地域の方々のお声が県外に届きお仕事をいただけることは非常にありがたいことですが、今後は作業にかかる費用を徴収できなくなる可能性も視野に入れ、それこそ、現在サービス中の墓地清掃などと同じように「ふるさと納税の返礼品」として作業出来ないか検討することも重要であると考えております。

シルバー人材センター国庫補助金は、会員数100名以上年間就業延人員数5,000人以上が補助対象の基準としてあり、当センターの所属会員の健康状態などにより、現状を維持できない場合には、就業機会の確保や提供できない事態が起こるという危機意識を持っているところです。会員増強は必須の課題である中、うちサポート事業にかかる補助金をいかに増やすかという課題もありますので、令和5年度（前々年度）実績“就業延人員／就業実人員＝一人当たりの就業数”より、令和6年度（前年度）実績が高くないと補助額は減少する構

図となっています。従いまして、就業機会を増え下支えする就労人数が増えないと補助収益は見込めませんので、会員一人一人が意欲をもって働き自信をつけられるような講習会や研修会の実施、参加についても継続して取り組みたいと感じました。

錦江町では、会員の作業を軽減し発注者の希望する勾配のある作業現場での作業を達成できるようにラジコン草刈機「神刈」の導入を行っておりますが、令和5年10月4日以降の講習会以来、昨年は1名の受講があり池田学習センターで作業を実施しました。

公共用地以外では、約1,500㎡の梅林の除草を行い好評のご意見をいただき、今後ご利用いただけるように宣伝をしております。ご興味のある会員さんには講習会を実施してまいりますので、会員発掘の一助になることを期待しておりますので周知くださいますようお願いいたします。

ボランティア活動については、第3土曜日の「シルバーの日」に取り組む傾向がありますが、当センターでは10月17日（木）に文化センター周りの除草と支所の除草を行うとともに会員の募集活動を実施しました。昨年より10名少ない48名の参加となりましたが、イベント開催直前だったことも相して関係団体から喜びの声もいただきました。

以上が、事業の概要となります。今後も会員の皆様が「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、健康に留意され地域社会の一員という自覚のもと、発注者の皆様からのご依頼、ご期待に応えてくださいますことを切に願ひご報告いたします。

参 考

※会員数、受託事業及び派遣事業実績

		目標	実績	増減	前年実績	前年との 差 異	前年実績 対比割合
会員拡大	会員数(人)	164	164	±0	164	±0	100.0
受託事業	金額(千円)	58,520	56,060	△2,460	53,752	2,308	104.3
派遣事業	就業延べ 人員(人日)	600	572	△28	604	△32	94.7
	金額(千円)	3,600	3,656	56	3,442	214	106.2
受託、派遣金額合計		62,120	59,716	△2,404	57,194	2,276	104.4

※就業途中及び就業中に係る事故

(1) シルバー総合保険適用事故

① 傷害保険対象事故

発生日	性別	年齢	程度	事故内容
4月25日 11:30	男	71	通院1日	家財持出作業中、火鉢を持って屋外へ出る際に落として左足を打撲した。診察の結果（左足親指のヒビ）
7月24日 14:50	男	63	通院1日	空地の下刈作業中、アシナガバチに右こめかみを刺された。
8月5日 11:50	男	72	通院1日	町道の草払い作業中、気分が悪くなり別の会員が病院へ連れていった。熱中症の症状がみられ、朝食を摂るように説明があった。 その後の作業でも、似たような所見があったので注意を促した。

3月16日 13:00	女	76	通院4日	住宅の清掃作業中、ゴミを廊下側から玄関土間においてある袋に入れようとした際、土間から主に利用する手摺（廊下側からは低い位置にある）に足を引っかけて転倒落下した。診察の結果（左肩の骨折と右ひざの擦り傷を負った。）
----------------	---	----	------	---

② 賠償責任保険対象事故

発生日	性別	年齢	事故内容
7月9日 11:50	男	75	町道の草払い作業中、走行中の一般車両（県外）の側面に飛石が当たり、傷をつけた。
9月4日 11:00	男	71	駐車中の会社員私用車リアガラスに、下刈中の飛石が当たり破損させた。
12月11日 9:20	男	72	生垣の伐採中、家庭への引込線（光ケーブル）に気づかずチェーンソーで切断した。住人がネット利用中だったので、すぐに気づけたが、緊急通信が出来なくなり利益を損なうようなことも想定されるので嚴重注意した。

(2) シルバー総合保険適用外事故 無

発生日	性別	年齢	事故内容
—	—	—	—

令和6年度 主な行事経過報告

(1) 理事会

会 議	行 事 内 容	場 所
第1回 5月10日	(1) 令和5年度第4四半期実績について (2) 令和5年度事業報告について (3) 令和5年度収支決算報告について（監査報告） (4) 「公益社団法人錦江町シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正」に係る提出議案の承認について (5) 令和6年度定時総会開催日程について (6) ゴールド会員の承認について 報告事項 ① 新規入会会員の承認及び退会会員の承認について ② 令和6年度事業計画について ③ 令和6年度収支予算及び資金調達及び設備投資の見込みについて ④ その他報告事項 会員錦江生き生き会総会議案について	総合交流 センター 2階大会 議室

第2回 7月29日	(1) 令和6年度第1・四半期実績について 報告事項 ① 新規入会会員の承認及び退会会員の承認について ② 代表理事等の職務執行状況報告について その他	総合交流 センター 2階大会 議室
第3回 10月30日	(1) 令和6年度上半期実績について (2) 配分金規約の一部改定について (3) 事務費規程の一部改定について (4) 定款第4条第1号に掲げる事業の契約に関する規程の新設について (5) 臨時（パート）職員就業規則の一部改正について (6) 会員配分金見積り基準の一部を改正する基準について (7) 事務費の額の改定について (8) 親睦・交流忘年会について (9) 会員研修について 報告事項. ① 会員の入会・退会について ② 定款第23条第2項による代表理事等の職務執行の状況報告について ③ シルバーボランティア活動について ④ 令和6年11月1日施行のフリーランス新法について その他	文化セン ター会議 室
第4回 1月28日	(1) 令和6年度第3・四半期実績について (2) 職員給与・退職給与規程の一部を改正する規程の制定について (3) 嘱託職員就業規則の一部を改正する規則の制定について/保留 報告事項 ① 新規入会会員の承認及び退会会員の承認について ② 代表理事等職務執行状況報告について ③ 公益認定基準について ④ 健康づくりグラウンド・ゴルフ大会及び交流会について ⑤ 研修旅行の報告について ⑥ スマホ教室の実施報告について その他	総合交流 センター 2階大会 議室
第5回 3月26日	(1) 職員給与・退職給与規程の一部を改正する規程の制定について…継続審議 (2) 嘱託職員就業規則の一部を改正する規則の制定について…継続審議 (3) 令和6年度収支補正予算について (4) 令和7年度事業計画(案) (5) 令和7年度収支予算案(案)、設備投資及び資金調達について 報告事項 ① 代表理事等職務執行状況報告について ② 新規入会会員の報告及び退会会員の承認について ③ 包括的契約について ④ 令和7年度第1四半期行事予定につて その他	総合交流 センター 2階中会 議室

(2) 会議等

年 月 日	行 事 内 容	場 所
R6.4月9日 4月11日 4月18日	安全就業パトロール 連合会訪問（令和6年度事業周知啓発） 令和5年度分の監査	町内 シルバー本所 々
5月8日 5月29日	安全就業パトロール 定時総会（参加40人、委任58人）	町内 文化センター
6月3日 6月11日 6月26日 6月28日	辞令交付式 県内シルバー事務局長会議 県連合会総会 安全就業パトロール	シルバー本所 鹿児島市 鹿児島市 町内
7月9日 7月10日 7月11日 7月19日	啓発・広報委員会 安全就業パトロール 安全大会 安全・適正就業委員会	鹿児島市 町内 鹿児島市 総合交流センター
8月7日 8月25日 8月27日 8月30日	安全就業パトロール 地区連協総会 安全運転管理者講習会 女性会員活性化委員会	町内 ホテルたけや 文化センター 鹿児島市
9月11日 9月20日 9月26日 9月27日	安全就業パトロール 面接試験（業務） 役職員研修会 班長会	町内 旧保健センター 鹿児島市 総合交流センター
10月1日 10月8日 10月17日 10月27日 10月28日	辞令交付式（業務） 安全就業パトロール ボランティア活動及び会員募集活動48名参加30.8% 社会福祉大会 県内シルバー事務局長会議	シルバー本所 町内 （文化センター、支所） 文化センター 鹿児島市
11月6日 11月13日 11月16日	安全就業パトロール 一般廃棄物実務管理者講習会 大隅縦貫道整備促進決起集会	町内 鹿児島市 文化センター
12月1日 々 12月3日 12月5日 12月8日 12月14～15日 12月27日	健康づくりグラウンド・ゴルフ大会 親睦交流会 安全就業パトロール 地区事務局長研修会 スマホ教室 5名参加 研修 9名参加 仕事納式	多目的グラウンド ホテルたけや 町内 鹿屋市 総合交流センター 宮崎 シルバー本所
R7.1月6日 1月10日 1月15日 1月23・24日	仕事始式 安全就業パトロール 職員研修会 職場健康診断	シルバー本所 （調整不能） 鹿児島市 JA根占支所

2月5日	安全就業パトロール	(調整不能)
2月9日	認知症とともに生きるまちづくり講演会（表彰）	文化センター
2月13日	県内シルバー事務局長会議	鹿児島市
2月28日	地区経理担当者研修会	鹿屋市
3月 8日	安全就業パトロール	(調整不能)